

| | | | |
|--|--------------------------------|-------------|----------------|
| 授業科目名： 英語学概論Ⅱ | 教員の免許状取得のための 必修科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 古庄 信 |
| | | | 担当形態： 単独 |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | | | |
| 科 目 | 教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 英語) | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項 ・英語学 | | |
| 「学位授与の方針」との関係 | | | |
| DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 | | | |
| OE~LModEの英語の各変化期において何がどう変化したのか、また変化をもたらした影響は何であったか、それらの変化が今日の英語PEにどのように反映されているかを理解する。 | | | |
| 授業の概要 | | | |
| テキストを丹念に講読し、各章の内容を例を交えながら具体的にレポートにまとめ、各章ごとに番号・見出しをつける。引用箇所は「」でくくるなどレポートの基本を守りつつ作成し、提出する。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1回 英語学の黎明期 第2回 英語前史(古代ローマとアングロサクソン) 第3回 アングロサクソン人とOE 第4回 OEの言語構造Ⅰ 第5回OEの言語構造Ⅱ 第6回 OEからMEへの変化 第7回 MEの言語的特徴 第8回 MEからEModEへの変化 第9回EModE(シェイクスピアと欽定訳聖書、発音の変化:GVS) 第10回 英語圏の拡大 第11回 LModEとさらなる英語圏の拡大 第12回(イギリス英語とアメリカ英語、その他の国々の英語) 第13回 現代イギリス英語 第14回 英語学の先駆者たち~英語学の諸分野 第15回 英語辞書と教職をめざす学生へのアドヴァイス 科目修得試験 | | | |
| スクーリングでの学修 | | | |
| テキスト | | | |
| 古庄信(2021)『英語学ハンドブック』改訂版 株式会社コーエー | | | |
| 参考書・参考資料等 | | | |
| 朝尾幸次郎(2019)『英語の歴史から考える英文法の「なぜ」』大修館書店 978-4-469-24623-0 | | | |
| 学生に対する評価 | | | |
| レポート評価(50%)、科目修得試験(50%) | | | |